

暮らしの自立学校<JSS> ~ジャン・シークシヤン・サンスターン

インド中央政府から委託
(イドゥッキ、シヴァカーシ)



草の葉でマット編み



傘を製作



ガラスに彩色

M.A.マートは技術習得の訓練コースをイドゥッキ(ケーララ州)、シヴァカーシ(タミルナードゥ州)で開いています。JSSはインド中央政府によって開始された、貧困層の地域共同体を援助する事業で、ろうそく作りからコンピュータ・サイエンスまで100種を越える職業技術訓練コースを開いています。M.A.マートはJSSの受益者に対し、地域に対する無私の奉仕を呼びかけています。識字教育プロジェクト(アクシャラダーナム)は受益者に、地域のなかで読み書きを教えることをすすめます。スローガンは「一人が一人に」、です。自殺防止プログラム「健全な生活のためのヘルプライン(ジーヴァナム)」では、ケーララ州内の自殺率増加と薬物乱用に対する取り組みに参加してもらいます。“近所のカウンセラー”一団が地元住民の家を一軒一軒たずね、問題を抱える人に話しかけます。JSSはこういったカウンセラーの育成に必要な支援と教育訓練を実施します。さらにJSSは「自立へのヘルプライン(アムリタム)」を通して、収入を創出できる自助グループを各地元、特に少数民族の村で育てています。地域コミュニティに知識とスキルと手段をもたらし、自立を促していくという発想です。



園芸養樹園(アーラパッド)



薬草保護区域(パタナムティッタ)

アムリタ開発活動

(ケーララ、タミルナードゥ)

M.A.マートは地方雇用の促進と環境保護への関心を高める開発プロジェクトに取り組んでいます。三つの薬草保護区域、バナナと根茎菜の集約農業プロジェクト、家庭菜園への関心を高めるための園芸養樹園を開始しました。

また、開発に欠かせない情報を村の人びとに提供する目的で、衛星通信による村落情報センターをケーララとタミルナードゥに8ヶ所設立しました。

2006年には、自助グループの増進計画を発表、300グループをコッラム地区で発足させました。地元の指導者とグループで小規模事業、および村落間での適正な取引体制を確立させます。これらのプログラムは特に村の女性を対象とし、力づけによって彼女らの雇用機会安定をめざします。5つの村では有機バナナの栽培によって、100家族に仕事を提供しているところです。自作・有機野菜栽培事業の取りかかりとして、コッラムの5千世帯に種の給付がはじまりました。

アムリタ・シュリー

自助的就労と力づけのプログラム(コジョーデ)

失業者と恵まれない人たちを対象に、自立支援を効果的に進めます。アンマのボランティアたちが、小規模の事業を立ち上げられるように受益者を助けていきます。受益者は質の高い家庭用品や調理素材を製造し、訪問販売をするための支援を受けます。インド全国各地のアンマのボランティアたちにも、地元で類似のプロジェクトを始め、周囲の貧しい人たちを助けていくことを呼びかけています。